

2025.11.7発行  
NO.414

## ほれほれまつ ぽしぽし祭りへのご協力、ご参加ありがとうございました！！

11月2日(日)第24回ぽしぽし祭りを無事に終えることができました。準備からお手伝いいただいたみなさま本当にありがとうございました。たこ焼きについては、ぽしぽしとLeoのお父さんお母さんたちが一緒に焼いている姿に、拓く未来につながっていく確かな手応えを感じました。メンバーも思い思いに過ごしていただきましたが、いかがだったでしょうか。日頃から、多くの方々に応援いただいていることで、メンバーの活動に対してもサポートいただける方が増えています。なお、収支報告については、確定次第お知らせ致します。(統括本部長 北岡 さとみ)



## 総勢198名 多彩な出演者が盛り上げてくれました♪

今回のイベントステージは、これまでとは一変し、ステージの場所も内容も大きく変えることにチャレンジしました。出演団体も、0歳～80歳までと、幅広い方々に出演いただき、様々な交流が新たに生まれ、出演者総勢198名の方々がとても生き活きと、そして精いっぱい来場者の方を魅了しようとして取り組まれる姿に、ステージ袖で見ながら胸が熱くなりました。最後の演目が終了するまで、たくさんの方がステージを見てくださり、わたしたちもとても嬉しく思うと共に、これからも一瞬の時を大事に、出会いを大事にしていきたいと思いました♪ ありがとうございました。(イベント担当：溝尻 博子)



## メンバーパフォーマンス！！ 楽しみながら、大活躍！

当日は、50名のメンバーが祭りに参加しました。25周年パーティで披露したダンスを再び練習し、イベントの中で全力でダンス・応援隊などで参加できました。また、パン屋の店番、UD体験コーナーのスタンプ押しなどでも活躍して頂きました。客席でも、イベントがあるごとに、大きな声で盛り上げてくれたり、手拍子をしたり、楽しんで参加している姿もたくさん見ることができました。家族の方々にも、祭り前からのお手伝い、当日の付き添いなど、たくさんのご協力ありがとうございました。

(メンバー担当：野瀬 美紀)

**みんなで力を合わせて、おなかも笑顔もいっぱい！人も防災もつながる！**

今年は2会場に広がり、飲食バザー24店、体験コーナー6店、遊びコーナー2店と過去最多。子どもたちも楽しめる祭りにしたいと、段ボール迷路、子どもやきとり焼き体験、防災グッズづくり、ふわふわトランポリンなど新たに実施し、想定以上に大賑わいでした。メンバーも食べたり、体験したりと笑顔あふれる時間を過ごしました。

準備から当日の運営まで、拓くにかかわる保護者をはじめ、地域の多くの方々がボランティアとして力を合わせてくださいました。各ブースでは、一生懸命に販売や呼び込みをしてくださる姿や、笑顔で談笑する様子があちこちで見られ、温かい雰囲気包まれました。また、今年は「バザー」と「防災」を掛け合わせ、被災地を想定した炊き出しを実施。ペットボトルの水やポータブル電源を使用し、訓練さながらの環境の中で、カレー・中華丼・ちゃんこなど約1,000食分を調理しました。

この取り組みを通して新たな炊き出しメニューも開発され、「もしも」の時につながる貴重な実践の場となりました。(バザー・防災・子どもブース担当：浦川 直人)



**「楽しい」「わくわく」をテーマに！初の「マーケット」開催**

今回は、今までのガレージセールを「マーケット」としてリニューアル開催いたしました。

「楽しい」「わくわく」をテーマに、物価高の中でも、皆様に少しでも安く商品を提供できるよう準備を進めました。多くの企業や有志の皆様からご寄付をいただいたほか、一部商品を仕入れることで品揃えを確保。また、防災意識を高めるきっかけとして、防災グッズの販売も行いました。

当日は開始前から多くの方にお並びいただき、大盛況となりました。皆様から様々なご意見を頂きましたが、多くの方が笑顔で帰られる姿を見て、難しい取り組みではありましたが「やってよかった」と感じられるイベントとなりました。ご協力、ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。(マーケット担当：野上 真紀子)



**県外(福島県浪江町・石川県珠洲市、輪島市・愛知県)より23名の方がお越しいただきました。**

東日本大震災以降15回目の参加となった福島県浪江町のコーヒータイムから6名。能登半島地震にて被災し、ご近所の方々の地元離れが続く寂しさを感じながらも地元から離れることなく歌を歌う事で活力を見出されている橋本さんご夫妻、元学校の教員であった新谷さん。ポレポレ開所時からお世話になっている愛知県「べにしだの家」のつながりから、今に至るご縁でお声掛けをして2年目。今年は新たな仲間を加え総勢23名にお越しいただきました。

年に1度のポレポレ祭りで再会する事がお互いの元気の源となり、今では、「ただいま」「おかえり」「元気でしたか？」という関係性になりました。今年は、なみえ焼そばだけではなく、唐揚げ、飲料、炊き出しのお手伝いをしていただきました。炊き出し釜の使い方がわかり、ぜひ愛知でも購入したい！！そんなお声をいただきました。

災害の時は、遠く離れているからこそ、支え合えることがあると思います。顔見知りになって、何かのときには「助けて」と言える仲間になっていきたいと思いました。(県外担当：福井 尚子)